

OISTカルチャー委員会基本方針

科学と文化の連携

委員会の使命

OISTカルチャー委員会は、芸術と文化を通じてOISTと周辺地域社会をつなぎ、心に残る体験づくりを支援することに尽力しています。

創造性を称え、文化と科学の取り組みの連携を促進し、相互に協力することで、互いの理解や敬意を深め、OISTと沖縄を独自の文化体験ができるグローバルな目的地として推進することを支援します。

委員会の構成

委員会は、OISTの教員、研究スタッフ、学生、事務職員、および外部の専門家によって構成されます。委員長は広報担当副学長またはその指名者が務めます。委員は委員長の指名により、委員会の過半数の同意を得て任命されます。委員の任期は1年とし、委員会の合意により延長が可能です。

委員の役割

各委員は、委員会による提案の評価および文化イベントの検討を支援します。委員会の資料の募集または審査の過程において、追加の協議が必要となる場合があります。

委員会の会議

会議は2ヶ月に1回開催されます。

委員会の事務局

広報担当副学長アシスタントが委員会事務局を務めます。

委員会の予算

委員会には予算が割り当てられていないため、予算を必要とプロジェクト、または独自の資金調達（例：外部スポンサーからの資金など）を伴う必要があります。委員会が実施を推奨する未資金プロジェクトは、広報ディビジョン予算から資金提供されるか、資源確保の要請を伴い執行役員会にて協議される場合があります、いずれの場合も広報担当副学長の決定のもと行うものとします。

その他

本方針に定めのない事項については、委員会メンバーによる協議・決定を行います。